

令和3年度 愛媛県がん診療連携協議会  
第1回 がん看護専門部会 議事録

開催日時 令和3年9月28日(火) 14:00~14:50 WEB会議  
開催場所 四国がんセンターから発信  
司会進行 がん看護専門部会長 四国がんセンター看護部長 多田 清美  
出席者自己紹介 (出席者一覧参照)

開会の挨拶 (多田部会長)

本日は、お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。  
部会はWebでの開催とさせていただきますが、昨年は計画していた研修が開催できず、今年はプログラムを大幅に変更しての開催となりました。コロナの感染状況が落ち着かない中、企画委員の方々をはじめ、研修の環境を整えていただいたことに感謝申し上げます。  
本日は短い時間ですが、よろしくお願いいたします。

議事内容

1) 幹事会及び役員会・専門部会報告 (資料1. 2)

- ・4月22日の幹事会では、協議会活動年間スケジュールの提示があり、今年度中の開催協議会について役員会幹事会の日程が決定した。  
役員会及び専門部会が先月終了しましたが8月7日、幹事会が10月7日、12月に報告会が予定されている。各部会活動については、部会ごとにWebで進めていくことになった。幹事会の報告は記録をご参照ください。
- ・がん看護専門部会報告について  
昨年の活動報告、今年度の計画、能力向上研修会の目的を、第3期がん対策推進基本計画の分野別施策を達成するための目的、および内容の変更について提案した。幹事会からの意見は特になかった。そして、実践能力向上研修会は、先月8月26日に開講し研修を開始している。
- ・第1回役員会・各部門報告会について  
第1回役員会・各部門報告会が8月7日に開催された。  
議事録はHPにまだアップされていないため、当日のレジメ、2022年度日程案と看護専門部会の報告したスライドの資料を添付している。  
日程案は、2022年度年間スケジュールにあるように、例年通りの日程だが、8月の役員会・専門部会・報告会の日程は8月6日が有力となっているが、年度初めに日程を決定する。  
看護専門部会からの報告は、昨年の報告と、4月の幹事会で承認を受けている、今年度開催の能力向上研修会について、及び今後の部会予定を報告した。
- ・協議事項 3)にある災害時のがん診療のあり方について、がん診療の継続のために、コロナ感染症を含め災害時には、県の災害ネットワークシステムから情報を得るとともに、相談支援センターの部会で検討していくとのことであった。

以上が、4月の幹事会と8月の役員会、部会報告の概要である。  
8月の役員会の議事録は近々協議会のHPにアップされる予定ですので、詳しくはご確認ください。

2) 令和3年度研修計画について (資料3)

(1) 今年度の研修の進行状況の報告について

- ・トピックス研修について  
ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムは、当院の緩和ケアセンターと共同開催とし、初めてのWEB開催とした。開催期間は、8月28日、29日の2日間とし、募集20名程度のところ、44名の参加者があり、無事終了した。
- ・がん看護実践能力向上WEB研修会について  
がん看護実践能力向上WEB研修会は、5日間の開催となっている。8月26日は事前課題発表会とグループワーク、8月28日、29日はELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムとし昨年度受講していない参加者の受講とし、全員が受講できた。9月17日は講義3つと9月18日以降の自施設実習に向け

での打合せを行い、4日間が終了した。

今年度、研修生は9名であり、各施設での実習は9月から11月26日までの実践をお願いしている。現在、自習が開始している施設、開始予定としている施設があると聞いている。

9月17日には、研修生の相談し合える環境作りとして、WEB上であったが交流も行った。また、実習を進める上で、研修生のフォローアップを行うファシリテーターをお願いしているが、今後の実習の進め方について相談を行った。

次回は12月7日となり、事例報告を行い、終了する予定となっている。また、今後の予定として、1月14日と3月3日にフォローアップ研修を2日間行い、今年度の7日間すべてを終了する予定となっている。

現時点での報告として、初めてのWEB開催中、6施設での実習となっており、各施設のファシリテーターとどうすれば実習がうまくできるのか相談しながら進めている。募集の段階から、各施設1名のファシリテーターの選出を依頼しており、1回/週程度のミーティングを行い、検討している。

実習の企画は、四国がんセンターで行っているが、各施設違う状況の中、実習の進め方については、かなり手探りの状況がある。そのような状況の中、各施設、看護部長様と相談させて頂きながら進めると聞いている。今後も、1回/週程度、情報共有しながら進めていきたいと考えており、何か気付いた点等については教えて頂き、ご協力をお願いしたい。

明らかになっている課題として、9月17日から12月7日までの約2か月間のフォロー体制として、研修生間での情報共有などができる機会を設ける必要があったのではないかという意見がある。これについては、次年度の検討課題とする。

### 3) がん看護実践能力向上WEB研修会について情報共有

今年度、初めてのWEB研修であり、日数も大幅に変更し5日間で進めている。情報共有しつつ、各施設より意見を伺いたい。

- ・1名参加しており、WEB開催であり、参加しやすいという意見がある。しかし、自施設実習のため、日頃の看護実践の中で、どこまでできるのかという不安があると聞いている。現場と相談しながら、自習中であることを部署内で認識し、支援できるよう取り組んでいる。

四国がんセンターより:業務と実習の区別がつかないことがむずかしいという意見があったが、関連して他に意見はないか。

→特に意見はない。

- ・2名参加している。自施設で研修が受講できるということで、1名の予定を2名とした。しかし、がんセンター実習のように事例に取り組む時間の確保が難しいと感じており、現場と意見交換しながら進めている。
- ・3名参加している。事例に取り組むにあたり、業務と実習の区別の難しさはあると聞いている。それぞれの研修生に担当者を決め、指導体制をとっている。1回/週程度のファシリテーターのミーティングについて、スケジュールがある程度決まっているほうが勤務調整しやすいという意見を聞いている。また、一律に決まっていない実習同意書の取得について、次年度に検討する必要があると聞いている。
- ・今年度は、受講希望者の調整が難しかった。次年度は参加させたいと考えている。
- ・研修参加はないが、WEB開催は参加しやすさがあるため、次年度は参加させたい。フォローアップ研修は、どのような研修か教えてほしい。

四国がんセンターより:フォローアップ研修は、1月14日半日研修を計画している。実践報告の約1ヶ月後ということで、実習中の自己の課題解決への取り組みを日頃の実践の中でどう発揮していくか、情報共有とどのように実践するかを考える研修としている。

3月3日は、1日研修として、午前中は自己の課題解決に向けた看護実践の共有、午後はOB、OGとの交流と勉強会を計画している。勉強会は、患者理解を深められるような内容を検討している。

- ・今年度は、受講希望者の調整が難しかった。次年度は参加させたいと考えている。9月17日から12月7日までの約2か月間のフォロー体制として、情報共有などができる機会を設ける必要があると感じた。

- ・今年度の参加はない。四国がんセンターでの研修を希望するスタッフが多く、例年通りの研修体制になってほしい。
- ・1名参加している。今年度は、5日間のWEBであることから、参加しやすかった。自施設実習ということで、①地域連携室、ケモ外来などの他部署実習、がん専門看護師のシャドーイング等と、②自部署実習を考えている。四国がんセンターでの研修は、実りが多いと思うが、コロナ禍の中、致しがたないと感じている。9月17日から12月7日までの約2か月間については、次年度の課題とし、今年度は、このままという認識でいいか。

四国がんセンターより:今年度は、日程が決まっていることもあり、次年度の課題としたい。ファシリテーターミーティングとして、取り組んでいきたいと考えている。

- ・1名参加している。同じように、業務と実習の区別の線引きの難しさは感じている。また、病棟編成により、自部署実習でない。実のある実習となるよう、認定看護師と看護師長と共に支援していきたくと考えている。
- ・当院より1名参加している。WEB研修のメリットもあるが、研修生同士の交流の機会を考える必要性を感じた。また、この研修受講は、個人の学習になっていると感じているが、受講者が自施設でどう役割発揮できるか、施設と研修の結び付けを検討したいと思う。
- ・受講希望者の調整が難しかった。また、業務と実習の区別の難しさから、自施設実習の不安があると聞いた。今年度の研修評価から、次年度に向けて検討できればと思う。
- ・今年度の参加はない。研修受講により、自己のスキルアップにはなっているが、自施設での役割発揮の難しさが理由になっているのではないかと感じている。学ぶ姿勢が高められるようなシステムの構築や、WEB研修が多くなっている中で、環境調整が課題にもなっているため、取り組んでいきたいと考えている。

今回頂いた意見は、企画委員と検討を重ねながら、より良い実習、研修ができるよう努めていきたい。ご意見ありがとうございました。

#### 4) その他

今回、話し合わなければならないこと、今後に向けて、何かご意見やご提案をお願いしたい。

四国がんセンターより:

先程、がん看護実践能力向上WEB研修会について、ファシリテーターミーティングについて、ご意見を伺ったが、企画委員とファシリテーターの今年度の予定について説明する。  
企画委員は、7日間の研修において、参加出来る範囲でのファシリテーションと企画全体への意見をいただくように2回/年の企画委員会を予定している。今年度は、計9回、可能な範囲での参加をお願いしている。  
ファシリテーターは、研修生のいる施設、または、研修開催について客観的意見を伺えるようその他の施設にも声掛けし、参加頂いている。  
ファシリテーターミーティングは1回/週開催しているが、定時開催となると毎回参加できない場合がある。そのため、研修生のいる施設のファシリテーター中心に、日程を調整し、開催している現状がある。次年度以降については、企画委員会で検討していきたいと考えている。ご理解をいただきたい。

#### 閉会の挨拶 (多田部会長)

今年度は自施設での事例展開というところで、多大なるご準備とご支援をいただき、開催できていることにあらためて感謝いたします。

各病院、コロナ感染病床の運営やその対応で、予断を許さない状況ですが、部会としての役割が果たせるよう進めていきたいと思っております。

今日の部会以降でも、ご意見やご要望等ありましたら、遠慮なく言っていただけたらと思っております。

次回は、令和4年1月25日(火) 14:00からWEB開催の予定です。本日は、お忙しいところご参加いただきありがとうございました。

以上でがん看護専門部会を終了いたします。